



魚津市イメージキャラクター

ミラたん

魚津市プレスリリース 平成31年4月1日

「魚津2040会議」を新たに設置します。

現在、市では、喫緊の課題である持続可能な行財政基盤の確立に向けて、2019年9月を目途に、公共施設再編方針や定員管理計画、事務事業や補助金等の見直しを行い、今後5年間の財政健全化計画を策定することとしております。特に公共施設の再編については、少子高齢化が進展する中、将来にわたって施設の更新や維持管理経費の負担も伴うことから、20代から40代の若い世代の意見や声を公共施設の再編に反映するため、「魚津2040会議」を新たに設置します。

- 1 名称 魚津2040（にいまるよんまる）会議
 - ◆ 20年後の2040年を見据えた会議
 - ◆ 2040年生産年齢人口（支える世代）
 - ◆ 20代—40代
- 2 目的 将来の魚津市の公共施設のあり方等を見据え、サービスと負担の視点も踏まえ、若い世代の意見や提案を、公共施設再編方針の見直しに反映するため。
- 3 構成 市内の産業、スポーツ・文化、福祉、子育て等の各分野の方々の出席を予定
- 4 今後の予定 4月下旬 第1回会議開催予定

担当部署：公共施設再編推進室

（室長）川岸 勇一

（担当者）村崎 博

電話 0765-23-1019 F A X 0765-23-1051

E-Mail soumu@city.uozu.lg.jp

行財政改革(公共施設再編)に対する若い世代の意見反映

(背景等)

市では、市民参画・協働によるまちづくりを推進するため、タウンミーティングや地区説明会の開催、市への意見箱やパブリックコメント募集、市民アンケート調査の実施など様々な機会を通じて、市民からの意見や声を市政に反映するように努めているが、参加人数や回答率が低い状況にあり、中でも若い世代の参加率の低さが顕著である。

現在、市では、喫緊の課題である持続可能な行財政基盤の確立に向けて、平成31年9月を目途に公共施設再編方針や定員管理計画、事務事業や補助金等の見直しを行い、今後5年間の財政健全化計画を策定することとしており、特に、公共施設については、少子高齢化が進展する中、将来にわたって施設の更新や維持管理経費の負担も伴うことから、20代～40代の若い世代の意見や声を十分反映しながら見直しを行うことが求められる。

魚津2040会議の設置

- ◆20年後の2040年を見据えた会議
- ◆2040年生産年齢人口(支える世代)
- ◆20代～40代 ⇒ 2040

(目的・役割)

若者の視点から、公共施設のあり方について意見や提案を行ってもらうこと。

(構成)

20代～40代

約20人程度

- | | |
|--------|---------|
| ○商工会議所 | ○スポーツ分野 |
| ○青年会議所 | ○文化分野 |
| ○PTA | ○女性起業者 |
| ○連合 | ○福祉分野 |
| ○青年農業士 | ○三太郎塾OB |
| ○※SODO | ○市職員 |
- など

意見・提案

反映

行財政改革推進委員会

財政健全化計画
(公共施設再編方針)